人穴小 学校だより
ふれあい

令和3年　2月26日
富士宮市立人穴小学校
第10号
ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/

学校教育目標　『自らをきたえ　共に生きる子（自尊・他尊・共存）』

一人一人の成長を振り返って

柏木　武文

吹く風に春の暖かさを感じるようになりました。早いもので、もう３月です。４月に、この自然豊かな人穴小に赴任して、もう１年がたとうとしています。

４月に新学年となり、やる気満々の子供たちでしたが、スタートして１週間でコロナウイルス感染症予防のため、１ヵ月の臨時休業となりました。子供たちにとって、つらい１年のスタートだったと思います。教師にとっても、子供たちの表情が見えない日々に、不安ばかりがつのる毎日でした。子供たちと早く会いたい、早く話がしたい、そんな日々のことがつい最近のことのように思いおこされます。

コロナ禍で、様々な制約があった１年でしたが、子供たちの姿からは着実な成長を感じます。年度始め始業式で、学校教育目標に関連して、この１年間で特に頑張って欲しい３つのことを話しました。それは、「自分を大切にしましょう」「友達や周りの人を大切にしましょう」「みんなでお互いに力を合わせましょう」の３つでした。少し難しい「自尊・他尊・共存」という言葉も子供たち投げかけました。難しい言葉ですし、学年も違う子供たちですから、捉え方は一人一人違っているかもしれません。でも、どの子もこの３つのキーワードを意識してがんばっていたと感じています。

２月末日までの180日間で欠席ゼロの日は、151日もありました。欠席ゼロがこんなに多いというのは素晴らしいことです。子供たちの学校アンケートでは、学校が楽しいという評価が100％でした。子供たちが心も身体も健康に元気に過ごせたのではないかと思います。それは、「自分を大切に」「友達や周りの人も大切に」に向かって努力できたあらわれだと感じています。コロナ禍で行った子供だけで行う運動会や学習発表会、授業参観の様子を見てくださった地域の方からは、「力強さが感じられた」「表現する力がついている」「表情がよかった」などの感想をいただきました。少ない人数だからこそ、何よりも力を合わせることを大切にする人穴小の子供の素晴らしさが、受け継がれ、育っていると感じています。一人一人が自分らしさを大切にしながら、成長しています。

子供たちの成長の陰には、保護者の皆様や地域の方々の支えが大きく影響していたことは言うまでもありません。人穴小の教育への御理解と御協力、本当にありがとうございました。残念なことに今年度は、学校経営の柱の１つである「地域との連携」が十分に行えませんでした。今後、新しい生活様式の中でも、小規模である人穴小のよさを生かした連携の在り方を考えていきます。これからもよろしくお願いいたします。

健康観察アプリ「ＬＥＢＥＲ（リーバー）」の導入について

コロナウイルス感染症対策として、保護者の皆様にも多くの協力をお願いしています。特に、毎朝の健康観察については、カードを作成し、子供本人の体温や体調、御家族の体調などのチェックをしていただいています。毎日、カードへの丁寧な記入をありがとうございます。新しい生活様式として行っている朝の健康観察は、今後も通常の生活様式として継続して行うことが予想されます。現在西富士中学校区では、健康観察や出欠の学校への連絡をスマートフォンで行うことができるアプリ「ＬＥＢＥＲ（リーバー）」の導入を考えています。このアプリを導入することで、御家庭での作業の効率化と学校への連絡の速さ正確さが期待できます。３月よりアプリによる連絡が可能になる予定です。詳細について、別文書にてお知らせいたしますので、主旨を御理解の上御協力お願いいたします。